



2013（平成25）年8月 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会発行

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎 3階

TEL 048-822-1120 FAX 048-822-1121 E-Mail 2004@sainokuni-sasa.or.jp ホムページ http://sainokuni-sasa.or.jp

平成25年度 彩の国ふれあいピック春季大会 開催

参加者 1,100 人が躍動

平成25年度彩の国ふれあいピック春季大会（第26回県民総合大会兼第12回埼玉県障害者スポーツ大会）は、4月29日のアーチェリーを皮切りに、5月12日にボウリング、サウンドテーブルテニス、5月19日に陸上競技、卓球、フライングディスク、水泳の各競技を開催しました。

本大会は10月に開催される「スポーツ祭東京2013 第13回全国障害者スポーツ大会」の予選会を兼ねており、選手1,100名は大歓声の中自己記録更新にチャレンジしました。



主催者あいさつ

埼玉県福祉部 副部長 小池 一夫



本日、ここに「彩の国ふれあいピック春季大会」が一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会、埼玉県障害者陸上競技協会、埼玉陸上競技協会をはじめ、多くの役員の皆様の御協力を得て、開催することができますことを心より感謝申し上げます。

また、市町村、特別支援学校、障害者施設の皆様におかれましては、日頃、ふれあいピックの運営に御協力をいただいております、ここに改めて御礼申し上げます。

さて、この春季大会は今年で12回目を迎え、各会場を合わせますと1,100の方が参加する大きな大会となりました。また、この大会は、本年10月に東京都で開催されます「第13回全国障害者スポーツ大会」の県代表選考会も兼ねております。選手の皆さん自らの限界にチャレンジし、力の限り頑張ってください。

埼玉県では、障害者の皆様がスポーツに参加することを通じ、自立と社会参加を進められるよう、障害者スポーツの振興に取り組んでおります。

秋には、ここ熊谷スポーツ文化公園で「彩の国ふれあいピック秋季大会」を開催いたします。この秋の大会は、体力に自信のない方でも楽しめるプログラムを予定しておりますので、是非とも皆さんで御参加ください。

昨年は、ロンドンでパラリンピックが開催され、埼玉県出身の多くの選手が日本代表として活躍されました。

特に、陸上競技に出場した高桑早生選手は、このふれあいピックで活躍し、努力を重ね、ついにパラリンピックに出場するまでに成長した選手です。100m、200mではともに決勝に進出し、7位入賞という成績を残されました。今後も、ふれあいピックをきっかけに世界で活躍する選手が数多く現れることを期待しております。

最後に、この大会の成功と、本日御参加の皆様のみならずの御健勝と御活躍をお祈りし、私のあいさつとさせていただきます。（要旨）

主催者あいさつ

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会 会長 塩浦 綾子

本日は、日頃より大変お世話になっております埼玉県福祉部小池副部長をはじめ埼玉県ならびにさいたま市の皆様をお迎えし、また、多くの参加者をお迎えし、本大会が盛大に開催されますことを主催者のひとりとして心より感謝申し上げます。

この「彩の国ふれあいピック春季大会」は、スポーツを愛好する仲間が集い交流を深め、互いに記録を競うとても大きなスポーツ大会であります。

春季大会への申込者は年々増加してきており、今年は1,100名の方に申込みを頂いております。このことは、参加頂く選手の皆様が積極的にスポーツに取り組み、日々の練習を怠らず、その成果を大いに発揮しようとする証ではないでしょうか。誠に素晴らしく喜ばしいことであると思っております。

本大会の開催目的には、「スポーツを愛好する仲間が集い交流を深める」「日頃の練習成果を発揮し、互いに記録を競い、さらなる可能性に挑戦する」「障がい者スポーツの一層の振興を図る」とありますが、まさしくこの開催目的に通じているということではないでしょうか。本日、参加している選手の皆様が日頃の練習の成果を大いに発揮し、ご活躍頂くことを祈っております。

最後に、本大会の開催にあたり埼玉陸上競技協会及び埼玉県障害者陸上競技協会をはじめ、多くの役員・ボランティアの皆さまに多大なご尽力を賜りますことに対し深く感謝申し上げ、私のあいさつとさせていただきます。（要旨）



彩の国ふれあいピック春季大会



■アーチェリー 4月29日(月祝)
はらっパーク宮代

2枚成功して
うれしい！
とびあがるくらいうれしい！
(フライングディスク参加者)



■サントテーブルテニス 5月12日(日)
埼玉県障害者交流センター



■一般卓球 5月19日(日)
彩の国くまがやドーム



■フライングディスク 5月19日(日)
彩の国くまがやドーム

楽しかったです。
緊張しました。
(水泳参加者)

日ごろ運動して
いないので、こういう
イベントがあって参
加できるとありがたい。
(フライングディスク参加者)



■陸上競技 5月19日(日)
熊谷スポーツ文化公園



■水泳 5月19日(日)
埼玉県障害者交流センター

ボランティアに参加して

法政大学スポーツ健康学部スポーツ健康学科4年 関根 彩花



「新記録！！」彼女は私の手を突然握りそう言いました。
何か手助けすることはないだろうか、どのように接したらいいのだろうか、声をかけることすら躊躇していたけれど、彼女はその壁を簡単に越えて、私に手を差し伸べてくれました。
不自由なく生活をしていても、何かに妥協して諦めてしまうことがあるのに、彼らはありのままの自分を受け入れ、可能性に挑戦することの大切さを教えてくれました。
このボランティアでは、障がい者とスポーツを通じて接することで、その障がいを理解し、コミュニケーションを図ることができる、とても貴重な経験になりました。
この経験を通じて障がい者とスポーツの関わり方をこれからも学んでいきたいと思いました。

「世界」にはばたくアスリートたち

世界にはばたけ！彩の国選手育成強化事業の第6回強化練習会を6月23日（日）陸上競技、水泳、卓球、アーチェリーの4競技に選手41名スタッフ23名が参加し、県内各地に分かれて実施しました。

このプロジェクトは、世界を目指すトップアスリートの育成強化及び底辺の拡充・社会参加の推進等を図ることを目的として平成22年から実施。参加している選手の中から、世界大会に日本代表として出場する選手が続々と出てきています。

陸上競技では、チェコ2013INAS陸上世界選手権に埼玉県から日本代表選手として金子遼選手、小林慶哉選手、山田宏一選手、スタッフとして樋口進太郎コーチ、小林雄貴コーチが参加されました。また水泳競技では、IDMベルリン2013に西田杏選手が参加されました。出場された選手から参加しての感想をいただきましたのでご紹介します。



■IDM ベルリン 2013

会期：平成25年5月23日（木）～26日（日） 場所：ドイツ・ベルリン
出場選手：西田杏選手（200m自由形・第3位 他）

今回の大会が初めての海外遠征で不安なこともたくさんあったけど、楽しかったです！他の国の選手を見て、やっぱり速いなど改めて感じました。今までは日本の中だけで競っていたので、世界の舞台だと全然違って、まだまだ頑張らなきゃと強く思いました。

自分の得意種目でベストが出なかったのはすごく悔しかったです。環境が全く異なる場所でもベストが出せるくらい強くなりたいです。

また、他の国の選手と話せて良かったです。でも、言葉が分からないときもあったので英語は大切だと思いました。今回の遠征はとても良い経験になりました。

西田 杏



■チェコ 2013INAS 陸上世界選手権

会期：平成25年6月8日（土）～17日（月） 場所：チェコ・プラハ市
出場選手：金子遼選手（5000m・第2位、10000m・第1位）、小林慶哉選手（1500m・第12位、3000m 障害・第3位*日本新）
山田宏一選手（400m・準決勝6位、4×400mリレー・第4位*日本新）
スタッフ：樋口進太郎コーチ、小林雄貴コーチ

金子 遼



僕にとって4年ぶりの世界大会でした。3回目なので、メダルを狙っていましたが、大会初日に10000mで金メダルを獲得できてほっとしました。

暑さもあり、自己ベストは叶いませんでしたが、世界一になった事は嬉しいです。5000mからフランスの選手が飛び出し一時は離されましたが、応援の声を力にして8000mで追い付きました。日本代表の意地が見せられて良かったと思います。

これからも、もっと高みを目指して努力していきます。



小林 慶哉



プラハの大会に出場してみて、1500mは失敬してしまいました。

目標は4分5秒だったので、もっと速く走りたいかったです。

3000m障害は、水ごうで転んでしまいました。だけど、あきらめないで走ったら銅メダルがとれました。

これからももっと練習をして、1500mは入賞・3000m障害は銀メダルを取れるようにしたいです。



山田 宏一

ず〜っと、一番の目標としてきた世界大会。ジャパンのユニフォームを着て出場することができ、とてもうれしかったです。

成田出発…こんなに長い時間飛行機に乗ったことがなかったのでもちろんしんどかった。

1日目 …AM練習 PMお買い物。チェココルネでお金を払いました。

2日目 …開会式

3日目 …400m 走る前、とても緊張しました。ベスト記録は出せなかったけど、頑張りました。

4・5日目…調整・バトン練習

6日目 …4×400mリレー 1走を走りました。日本新記録が出せてうれしかったです。

いろいろな国の選手と走ることができ、とてもいい経験をする事ができました。また、世界大会に行けるよう、そしてメダルが貰えるよう、頑張って練習していきたいです。

7月19日（金）～28日（日）、フランスのリヨンにおいて2013IPC陸上競技世界選手権大会が開催され、埼玉県から高桑早生選手が出場、また7月26日（金）～8月4日（日）、ブルガリアのソフィアにおいて第22回夏季デフリンピック競技大会ソフィア2013が開催され、埼玉県から門脇翠選手が出場しました。両大会の報告は、次号にてご紹介します。



埼玉県勢大健闘！！ 4団体競技が全国大会出場を果たす！！

第13回全国障害者スポーツ大会関東ブロック地区予選会が、5月25日（土）から6月2日（日）にかけて東京都、山梨県で開催され全国大会を目指し熱戦が繰り広げられました。

埼玉県勢は、車椅子バスケットボールフットベースボール、バレーボール（知的）、グランドソフトボールが悲願の優勝を果たし、全国大会出場を決めました。またバレーボール（精神）が準優勝を果たしました。

優勝した埼玉県チームは、関東ブロック地区代表として10月12日（土）～10月14日（月・祝）に開催される「第13回全国障害者スポーツ大会スポーツ祭東京2013」に出場します。

フットベースボール

おかげさまで今年度、東京都で行われる第13回全国障害者スポーツ大会に出場できることとなりました。埼玉大会以来9年ぶり、自力では初の出場となります。

この間、関東ブロック予選会では8年連続の準優勝という成績、近くて遠い全国大会でありました。それでも我々と夢を共にし、様々な形でチームを支え続けて下さった多くの皆様にこの場をお借りしてまずは御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

決勝まではコマを進めても結局手に出来なかった全国へのキップ、モチベーションを保てず夢を諦めてしまった者、練習をさぼり気味になってしまう者もありました。それでももう一度自分を奮い立たせ、ダイヤモンドに立ち続けた者に栄冠は巡ってきたのです。私自身なかなか結果を残してあげられないことにふがいなさを感じることも多々あったわけですが、我々スタッフを信じ、ひたむきにボールを追いかけ、ついに結果を出した選手諸君を誇りに思います。

チーム発足当時、夢は大きく『全国制覇』と掲げました。関東を制し、チームは今、一丸となって灼熱の熊谷で練習を重ねております。全国での更なる飛躍にご期待ください！

埼玉県チーム監督 岩田 晃広

全国大会に向けて全員で厳しい練習を重ねてきました。関東大会で優勝ができたのは一人一人の実力が身についたことと、チームワークがあったからだと思います。

今、本当にチームがひとつにまとまっています。全国大会まであとわずかとなりました。大会まで厳しい練習が続くと思いますが、頑張っていきたいと思います。

全国大会出場が初めてのメンバーも多いですが、全国制覇に向けて頑張っていきたいと思います。全国制覇をして思い出に残る年にしたいと思います。応援、よろしくをお願いします。

埼玉県チーム主将 清水 健二



バレーボール（知的障害の部・男子）

「全国へ！いざ出陣！！」

平成25年5月現在、本県の知的障がい者バレーボールクラブチームは2チームのみです。

埼玉ドリームスを立ち上げた竹井彰彦氏の「埼玉県の子供もたちにバレーボールの素晴らしさを伝えたい。そして人間形成を図りたい」その思いを受け、活動を始めて7年。今やっと竹井氏の思いが芽を出し、蕾をつけるところまでできました。

埼玉県知的バレーボール男子チームは、5月25日（土）の関東地区予選会で昨年敗退した横浜市選抜にリベンジを果たし、決勝では茨城県選抜の挑戦を跳ねのけ、見事優勝！国体出場の切符を手に入れました！

この結果は、選手たちに今までの努力が実を結んだという達成感と充実感を与えてくれました。

今度は夢舞台であった全国大会です。これまで支えてくれた多くの方に感謝の気持ちを忘れず「強い意志！燃える情熱！固い絆！」を持ち続け、思いっきり楽しんでいきます！

埼玉県チーム監督 大澤 慶之

「バレーボールに出会えて」

私がバレーボールを始めたのは、高1の時に監督から誘われたのがきっかけです。しかし、当時はバレーボールのルールを全く知らなかったので、正直戸惑いました。1度は断わろうと思いましたが、学校で監督と会うたびに何度も誘ってくれたのでバレーボールを始めることを決心しました。

あれから4年少しバレーボールを続けて、ついに地区予選で初めて優勝して本当に嬉しかったし、バレーボールを続けて良かったと感じています。もし、あの時断っていたらバレーボールの楽しさや優勝した喜びの瞬間も分からなかったと思います。秋の全国大会で結果を残して監督に恩返し出来たらと思います。

埼玉県代表として精一杯頑張ります。応援よろしくをお願いします。

埼玉県チーム主将 小川 宏樹

おめでとう！全国大会出場！！

・・・フットベースボール、バレーボール（知的男子）
車椅子バスケットボール、グランドソフトボール



フットベースボール ★優勝

埼玉県 9-2 茨城県
埼玉県 10-6 千葉県 (決勝)



バレーボール（知的・男子） ★優勝

埼玉県 2-0 横浜市
埼玉県 2-0 茨城県 (決勝)

車椅子バスケットボール ★優勝

埼玉県 64-50 千葉市
埼玉県 55-40 栃木県 (準決勝)
埼玉県 73-62 千葉県 (決勝)



グランドソフトボール ★優勝

埼玉県 13-0 栃木県
埼玉県 2-0 神奈川県 (準決勝)
埼玉県 12-2 群馬県 (決勝)



バレーボール（知的・女子）★第3位

埼玉県 0-2 千葉県
埼玉県 2-0 横浜市 (3位決定戦)



バレーボール（精神）★準優勝

埼玉県 2-0 千葉市
埼玉県 2-0 神奈川県 (準決勝)
埼玉県 0-2 横浜市 (決勝)



サッカー ★第3位

埼玉県 4-0 神奈川県
埼玉県 0-1 茨城県 (準決勝)
埼玉県 4-0 さいたま市 (3位決定戦)



ソフトボール

埼玉県 10-8 さいたま市
埼玉県 0-9 横浜市 (準決勝)
埼玉県 4-9 千葉県 (3位決定戦)



バスケットボール（女子）

埼玉県 61-66 神奈川県



バスケットボール（男子）★第3位

埼玉県 80-34 栃木県
埼玉県 54-71 横浜市 (準決勝)

浦和レッズハートフルカップ第6回スマイルサッカー大会

声援を背に、39チームが参戦！！



浦和レッズハートフルカップ第6回スマイルサッカー大会を5月3日（金・祝）さいたま市桜区のレッズランドにおいて開催し、サッカー11人制（知的障がいの部）に3チーム、フットサル5人制 I（知的障がいの部）に26チーム、同 I（女子の部）に2チーム同 II（精神障がいの部）に6チームに加え、パラリンピックで実施されている脳性マヒ者7人制サッカー2チームがオープン種目として参加し、計39チームの参加で実施しました。

フットサル5人制 I 部で優勝した羽生むじなもんAのE. つばさ君は、「優勝できてとてもよかった。チームをまとめるのに一生懸命頑張りました。自分はあまり役に立てなかったけど、後輩に感謝しています。練習を週4日行っている成果がでたと思います。今日はありがとうございました。」と元気いっばいに語ってくれました。

大会結果

サッカー11人制

優勝 FC埼玉RED
準優勝 チーム桜A
第3位 チーム桜B

フットサル5人制 I

優勝 羽生むじなもんA
準優勝 川口特別支援学校
第3位 FCパラダイス

フットサル5人制 I -女子

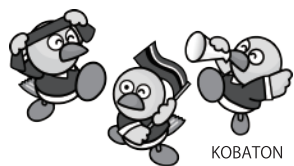
優勝 羽生むじなもんGirls
準優勝 FC-Forest レディース

フットサル5人制 II

優勝 ふれむFC
準優勝 やどかりF.C.
第3位 F.C.cangiare

脳性マヒ者7人制サッカー

ASユナイテッド 6-5 横浜BAY FC



KOBATON



さいたま市 サッカー教室

心はもうJリーガー！！



さいたま市サッカー教室を6月29日（土）さいたま市荒川総合運動公園サッカー場において、浦和レッドダイヤモンズOB会の都築龍太先生、桜井直人先生、斉藤豪人先生を講師にお招きして開催しました。

教室は遊びを取り入れながらのウォーミングアップの後、パス練習、ドリブル練習、講師を鬼に見立て、捕まらないようにゴールまで運ぶシュート練習と進行し、最後には講師やスタッフも加わりミニゲームを行いました。

講師への質問コーナーでは、「現役当時の話」や「GKとして大切なことは」「サッカーが上達するには」などの広範な質問に各講師から時折ジョークをまじえてひとつひとつ丁寧にお答えいただきました。最後に来年の再会を約束し、教室は閉講しました。

さいたま市 エンジョイ野球教室

元プロが熱心に指導！！

さいたま市エンジョイ野球教室を6月22日（土）さいたま市営浦和球場において、プロ野球OBクラブの鈴木健先生と古屋剛先生を講師にお招きし開催しました。

前半はウォーミングアップ、キャッチボールで体をならし、後半は守備や打撃といった技術面の練習を中心に行いました。最後に、2チームに分かれて試合を行い、参加者は必死になってボールを追いかけていました。

鈴木先生と古屋先生への質問コーナーも設けられ、参加者と講師の先生方の交流も一段と深まり、教室を終了しました。



笑顔いっぱいの教室になりました

7月8日（月）、さいたま市立植水小学校（植水小特別支援学級7名が参加）において「ふれあいサッカー教室」を開催しました。

この教室は、国のモデル事業として公益財団法人日本障害者スポーツ協会から委託を受け実施する「埼玉県ふれあい地域振興事業」のひとつで、今年で3年目を迎えます。

講師として元なでしこジャパンの北本綾子選手、元浦和レッズレディースの木原梢選手をお招きし、その他サポートスタッフとして3名の埼玉県障害者スポーツ指導者にご協力をいただきました。

教室は準備体操に始まり、講師のデモンストレーション・ボールフーリング・シュート練習・試合の順に進行しました。

まさに「猛暑」という気候の中での実施となりましたが、試合ではチーム毎に円陣を組んで元気いっぱいの掛け声をかけたり、ゴールが決まると講師と参加者がハイタッチをかわしたりとたくさんの笑顔や歓声あふれる教室となりました。



平成25年度 ふれあい登山

花々が咲き誇る山道を歩く

4月14日（日）、ふれあい登山（障がい者29名、付き添い23名、日本山岳会埼玉県支部26名、埼玉県障害者スポーツ協会2名の総勢80名が参加）を実施しました。

埼玉県小川町の東武竹沢駅をスタートし、同じく小川町にある官ノ倉山・石尊山を登り、小川町駅を目指すコースで巡っていきました。参加者の感想では、「楽しかった」という声が多く聞かれ、「また参加したい」「このようなイベントを開いていただけてありがたい」というような声もありました。



出前スポーツ教室

地域でのスポーツ、もっと身近に

「出前スポーツ教室」は、スポーツに親しんでいただくことを目的に開催を希望する県内（特別会員市町村）どこへでもスポーツ協会スタッフが出向いて指導や運営の助言をします。

地域の障がい者スポーツ大会での実施種目の検討から当日の進行、スポーツ教室など実施しています。詳細についてはお気軽にお問い合わせください。

6月8日（土）羽生市、6月15日（土）加須市において開催された障がい者スポーツ大会で、準備体操や一部種目の進行を担当しました。



羽生市
準備体操、大玉送り、ボール相撲



加須市
準備体操、四面卓球バレー

春日部市立大増中学校 福祉講演会

サウンドテーブルテニスを体感

6月21日（金）、春日部市立大増中学校において「平成25年度福祉講演会」が実施され、埼玉県障害者卓球協会からサウンドテーブルテニスの宮澤三夫選手、宮澤則子選手、横山二三男スタッフ、五十嵐ひろみスタッフが講師として、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会スタッフ1名がサポートスタッフとして参加しました。

講演会は宮澤選手による「視覚障がい者のスポーツ」「サウンドテーブルテニスについて」の講演からはじまり、試合形式のデモンストレーションのあと、競技体験を行いました。体験では生徒代表として卓球部の12名がアイマスクを着けずに練習し、次にアイマスク着けた状態で音を聞いてラケットでボールを打てるかに挑戦しました。最後に生徒代表からお礼の言葉と花束が贈られ、終了しました。





一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会平成25年度理事会を5月23日（木）、定時社員総会を5月28日（火）に彩の国すこやかプラザにおいて開催しました。

定時社員総会において下記4議案及び1報告が上程され、慎重な審議の結果、全議案が承認されました。

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 議案第1号 | 平成24年度事業報告について |
| 議案第2号 | 平成24年度収支報告について |
| 議案第3号 | 平成25年度事業計画について |
| 議案第4号 | 平成25年度収支予算について |
| 報告第1号 | 一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会
入会承認について |

ご寄付ありがとうございました

株式会社ケイワールド日清(代表取締役 猪股和則様)から「障がい者スポーツ活動に活用してください」とのメッセージを添え、ご寄付をいただきました。

平成25年7月17日（水）、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会松本洋副会長から猪股和則代表取締役に感謝状をお贈りしました。

(写真左が㈱ケイワールド日清猪股代表取締役、右が当協会松本副会長)



障がい者のスポーツ活動をご支援くださる賛助会員をご紹介します

長生館 ~長瀨でのんびりゆったり~

旅館長生館は長瀨の真ん中に位置していて、大正4年開業ですから、もう間もなく100年を迎えます。長瀨は大正13年に国より名勝および天然記念物に指定された風光に恵まれた観光地です。ライン下りは変化に富んだ長瀨の荒川を利用した全国にも知られた川の遊びです。最近では若者中心にカヌーやラフティングを楽しむ人たちも、大変多くなりました。

長生館はおもてなしの旅館です。館内は四季折々のお花で飾られています。長瀨の景色を楽しめるようお部屋はすべて荒川に面しています。またできるだけバリアフリーであるよう努めています。

長瀨は風景の観光地であるとともに、多彩なアウトドアスポーツが楽しめる場所でもあります。特に巡りをぐるっと低い山に囲まれていますから、低山歩きには最適です。寶登山神社に参拝しロープウェイで頂上に登るとぐるっと秩父地域の山々や盆地が見渡せます。日頃のストレスも長瀨の風が癒してくれます。

日常からちょっと解放されて長瀨でのんびりゆったりお過ごしください。

花のおもてなし

長生館

〒369-1305

秩父郡長瀨町長瀨 449

TEL 0494-66-1113

FAX 0494-66-1115

賛助会員を募集しています

一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会は、皆様の会費によって運営されています。障がい者のスポーツ活動の充実及び普及を図るために、多くの皆さまのご理解とご協力を必要としています。ぜひとも、賛助会員として皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

団体 … 1口 5,000円/年 個人 … 1口 1,000円/年

< 会費振込口座 >

振込先名義：一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

① 武蔵野銀行 大宮支店 普通口座 1047615

② 郵便局 振替口座 00190-6-559638



※ご入会に際しての資料請求、ご質問は当協会までお気軽にお問い合わせください。